

2019年度男女共同参画推進フォーラム参加者の皆様へ

初日（8月29日）の特別講演・トークセッション講師のニコール A. ゴードンさんから参加者の皆様へ、次の通りメッセージをいただきましたので、お知らせします。
（日本語訳：NWEC、英語：原文ママ）

国立女性教育会館事業課

2019年8月31日

「ニコール A. ゴードンさんからのメッセージ」

私には、このフォーラムが終わるまでに、皆様に考えて頂きたいことがあります。
私が講演とトークセッションにてお話したことが皆様への一つの提案になることを祈念しております。

私が提案したいのは、上の世代の人々が、憲法 24 条によってどのようにそれぞれの生活が変化したのかについて、書いて記録として残すべきだということです。

そして、書いたものを地域の新聞社に送ってください。

こうすることが、憲法 24 条が人々に広まり、浸透するための力強い方法になるだろうと信じています。

また、書いたもののコピーを NWEC（国立女性教育会館）にも送ってください。

そして書いたものが新聞に載りましたら、その記事のコピーも送ってください。

私は、このようにして各地域において憲法 24 条について考え、書くことによる、日本中を巻き込んだ出来事が起こると思っています。

フォーラムに参加して下さった人々が、より実践的で、より個人的なやり方で憲法 24 条を支え、それに貢献することを望んでいます。

ご配慮ありがとうございます。

ニコール A. ゴードン

〈English Version〉

I have an idea that I would like you to consider before the forum is over!

I wish I had made a suggestion to people at the conference when I spoke.

I wanted to suggest that people of the older generation should write about how their lives are different because Article 24.

And then they should send them for their local newspapers to print.

I believe that would be a powerful way for them to contribute to the education of people about article 24.

I think they should also send a copy of what they have written to NWEC.

And if their articles are printed, they should also send you a copy of the printed article.

I think it would be a great event all around Japan for people in every prefecture to be writing and thinking about this.

I hope there is a way for you to announce to the people at the forum that it is something I would like to suggest to them as a practical and personal way to support article 24.

Thank you for thinking about this!

Nicole